

第68回大分県高等学校総合体育大会  
**22. ボクシング競技実施要項**

- 1 主 催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期 日 令和 2 年 7 月 18 日 ( 土 ) 9 : 30 ~ スポーツエントリーズチェック、終了後、健診・計量  
10 : 45 ~ 開始式  
11 : 00 ~ 競技開始  
7 月 19 日 ( 日 ) 9 : 30 ~ 健診・計量  
11 : 00 ~ 競技開始  
7 月 20 日 ( 月 ) 9 : 30 ~ 健診・計量  
11 : 00 ~ 競技開始・競技終了後閉会式
- 3 場 所 県立鶴崎工業高等学校多目的競技場ボクシング道場
- 4 競技規則 令和2年度(社)日本ボクシング連盟高等学校競技規則による。
- 5 競技種目 (1) 男子はピン級からミドル級までの8階級  
(2) 女子はピン級からミドル級までの9階級
- 6 競技方法 (1) 個人選手権とするが、学校対抗も兼ねる。  
(2) トーナメント方式で優勝・準優勝・3位(2名)を決定する。ただし3・4位決定戦は行わない。  
(3) 得点規定については、下記の通りとする。  
ア. 抽選の不戦勝を除いて、1勝ごとに勝ち点1点を与える。  
イ. 優勝に5点、準優勝に3点を与える。  
ウ. 1回目の検診・計量で失格した者は、得点と順位は与えない。その場合、下位の者のランキング順位を上げ、順位得点該当の場合は、得点を与える。  
エ. 階級に1名のみエントリーの場合は、本県のボクシング連盟審判委員会で決定し、認めれば認定優勝者として推薦し、順位得点を与える。  
(4) 学校対抗順位決定方法は、下記の通りとする。  
ア. 個人得点の合計点で決定する。  
イ. 同点の場合は、チャンピオンの数による。  
ウ. ア・イが同等の場合は、2位の数による。  
エ. ア・イ・ウが同等の場合は、3位の数による。  
オ. エで決定しない場合は、同順位となる。
- 7 参加資格 (1) 「第68回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。  
(2) 令和2年度日本ボクシング連盟及び大分県ボクシング連盟に登録済みの者であること。
- 8 参加制限 (1) 各学校・各階級とも、2名以内のエントリーとする。
- 9 参加申込 (1) No.22 様式により作成する。2部印刷・捺印して、所定の学校一括申込みにする。  
(2) 承認を得た申込電子データは、メールで送信する。(7711名：競技/校名/監督名)  
**\*大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。**  
宛 先 〒874-0133 大分市葛木509 県立鶴崎工業高等学校内  
メールアドレス iida-ikuo@oen.ed.jp 専門委員長 飯田 育夫 宛  
< データ受付期間：6月25日(木)12:00必着>
- 10 専門委員会 (1) 令和 2 年 7 月 4 日 ( 土 ) 13 時~ 鶴崎工業高等学校
- 11 連絡事項 (1) 健診・計量10分前にスポーツエントリーズチェック・点呼を行う、遅刻は一切認めない。  
(2) 参加選手は、総合検診記録、CT証明書、選手手帳、健康保険証、試合用具を持参のこと。  
(3) 競技出場のため検診医療費を、監督会議時に選手1名につき、2,000円を納入する。  
(4) 入場制限を行う。会場内への出入りを試合当日に出場する選手、保護者、マネージャー、顧問、引率者、役員及び審判員とする。  
(5) 組み合わせ抽選は、専門委員会で県選手権大会優勝者、準優勝者を同一階級での出場時のみシードする方法に基づいて行う。  
(6) 参加申込後の階級変更は認めない。ただし、参加の取り消しはその限りではない。  
(7) セカンドについては、1名のチーフまたはサブセカンドは有資格者とする。アシスタントセカンドはその限りではない。  
(8) 競技者以外のマスク着用を認める。  
(9) 競技者のアップはシャドー等のみとし、ミットやマスボクシングは厳禁。  
(10) セカンドは2名以内とし、それぞれ使い捨ての手袋を着用する。  
(11) 6月1日(月)から別紙健康観察について実施し、エントリーズチェックの際確認をうける。  
(12) 密集を避けるため階級により時間を区切ったセッションを実施する。組合せ抽選後に決定版をHP(高体連・大分県ボクシング連盟)にアップする。  
(13) 出場選手は必ず参加同意書の提出を必要とする。
- 12 感染症等の対策 (1) 感染症等の対策については別紙に掲げる留意事項を遵守すること。  
(2) 競技中の傷病など緊急時の対応については救急体制にしたがって行動すること。

## 感染症等の対策に関する留意事項について

ボクシング競技専門部

## 1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 気温が高い中での大会であること及び運動不足が考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。熱中症予防のため、こまめな水分補給をすること。
- (3) 生徒に発熱など風邪の症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。
- (4) 会場内に入る生徒（競技中以外）・競技役員・補助員・引率者・観客等は、必ずマスクを装着すること。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合はマスクを外すこと。また、屋内でも息苦しさを感じた時は、換気や人と十分な距離を保つなどの配慮をした上でマスクを外すこと。
- (5) 会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (6) 同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。
- (7) 競技に使用する共用の用具（ボール等）については、専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。
- (8) 競技会場内では、競技専門部（係員）の指示や誘導に従うこと。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部及び県高体連事務局に対して速やかに報告すること。

## 2 ボクシング競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

## 【大会本部】

- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけんと消毒液を設置する。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・役員、審判、その他の部員は、常時マスクを着用する。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する。
- ・学校毎に更衣する配置を決める（配置はトレーニングルームにて掲示する）
- ・応援は原則禁止とする。（競技中のタイムは各学校1名が指示する）。
- ・部員同士の大きな声の会話も禁止する。
- ・ウォーミングアップは、シャドーボクシングのみとする。ミット打ち、マスボクシングは禁止する。
- ・セカンドは、マスクとゴム手袋を着用する。
- ・各階級によるセッションの実施については、時間による制限を行う。当日、試合のある選手の保護者・

親族のみの参観を可能とする。その際、距離を2m(最低1m)確保する。

- ・開閉会式参加者は、役員、審判、各学校の代表選手1名、もしくは2名とする。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・ゴミは、各学校・個人で持ち帰る。

## 【選手・役員・保護者等】

### 《密閉》

- ・室内の競技会場、更衣室、控室等は、換気（30分に1回）を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限するので注意すること。

### 《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。
- ・応援は原則禁止とする。（競技中のタイムは各学校1名が指示する）。
- ・部員同士の大きな声の会話も禁止する。
- ・更衣は、密集・密接にならないように、十分なスペースを確保するために着替える人数を制限する。  
学校毎に更衣する配置を決める（配置はトレーニングルームにて掲示する）
- ・ウォーミングアップは、シャドーボクシングのみとする。ミット打ち、マスボクシングは禁止する。
- ・セカンドは、マスクとゴム手袋を着用する。

### 《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内の人数を減らすために、試合の順序等により、会場への入場時間を定めているので注意すること。試合終了後は、速やかに次のチームと入れ替わること。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分しているので注意すること。
- ・各階級によるセッションの実施については、時間による制限を行う。当日、試合のある選手の保護者・親族のみの参観を可能とする。その際、距離を2m(最低1m)確保する。
- ・開閉会式参加者は、役員、審判、各学校の代表選手1名、もしくは2名とする。

# 多目的競技場ボクシング場（会場レイアウト）





